住人十色

第201回



◎保存会の会員は総勢20人。写真は10月25日に集まったメンバーで撮影

受け継がれ、境内に息づく獅子の舞
保存・伝承される郷土の伝統文化

寺村獅子舞保存会の皆さん

新田神社の社殿に、力強く足を踏み込む音が響きます。10月20日に行われる寺村地区の秋祭りで奉納されるのは、寺村獅子舞保存会の演舞です。一台の大太鼓で打ち鳴らす激しいリズムと、ダイナミックな舞が特徴。氏子の家を巡る「遍路舞」も、今も大切に受け継いでいます。敬老会や住民の結婚式など祝いの席にも花を添えてきました。

会の発足は昭和62年。獅子舞を始めて42年、太鼓を叩いて20年の本田浩二（こうじ）さんは「音色は幼い頃から身体にしみついていた。舞う人の癖や経験に合わせた、踊りやすい演奏を心がけている。獅子の動きと太鼓がピッタリ合ったときはうれしいよ」と笑顔を見せます。事務局長の成田尚哉（なおや）さんは「過去を知り、伝統をつないできた先輩たちの存在は心強い」と話し、「寺村に獅子が舞う光景を、地元の手で守っていきたい」と思いを語ります。

11月には内子町の姉妹町村である沖縄県・宜野座村で演舞を披露します。当日は宜野座村、東京都、そして寺村の獅子が共演。成田さんは「踊りも姿も、込められた意味も全く違う。それでも〝獅子舞〟という共通の文化を通して、一層深い交流ができたら」と期待を寄せました。

編集幸記

▽小田深山MTBフェスティバルの取材では、イベントに関わる皆さんの楽しそうな表情が印象に残っています。レースの出場者への声援がとにかく温かい。「この人たちと一緒だと楽しそう」という山口さんと同じ気持ちです（史）

▽みこしは上にあげるものだと思っていましたが、寺村地区では左右に揺らすそう。初めての光景に、思わず「上じゃないんかい！」と突っ込みそうになりました。横揺れが一般的だったらごめんなさい！（花）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120（44）2130

発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893（44）2111（代）／FAX（44）4300
https://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp

内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893（44）2112（代）／FAX（44）6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892（52）3111（代）／FAX（52）2303

編集：広報うちこ編集委員会

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。
きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK